

966回

2013.1.28

(12:30~13:30)

地区ガバナー公式訪問例会

本日のお客様

国際ロータリー第2790地区
ガバナー

松戸東RC

得居 仁 様

会長挨拶

山本 成人 会長



こんにちは、本日は得居ガバナーを迎えての昼例会になります。

例会の前にガバナーとの協議会を致しました。ガバナーの話を聞く中で、ガバナーがクラブを尊重してくれる方だとわかり、大変ありがたく感じました。又、ガバナーのロータリーの考えかたを聞き非常に勉強になりました。

当クラブとしては、既に半期が過ぎていますが、残りの半分を、今回のガバナーの指導、教えをできるだけ反映して活動をしていけたらと思います。

例会の後、クラブ協議会があります。得居ガバナ

一、引き続き、宜しくお願い致します。

話は変わりますが、先週も話したかもしれませんが、景気が確実に上向いています。今年をターニングポイントで20年ぐらいは楽しい経営が出来るそうです。

当社も、一気に拡大を模索していますが、同時に景気減速の時に会社が傾かない土作りにも取り組まないといけないと思っています。

ロータリーにも言えることだと思います。ここ最近では、会員増強、なにかと会員増強でしたが、今後は、景気が上向けば、そんなに会員増強をうたわなくても、会員は増えると思っています。

これからは、景気が傾いたときに、会員が減らない環境づくりに力をいれるべきかと私、個人としては思っています。

幹事報告

吉田 朋令 幹事



- 2月14日IMの件くれぐれもよろしくお願いいたします。
- 次週は例会終了後定例理事・役員会があります。

委員会報告

プログラム委員会

辻 修 委員長



2月のプログラムについて。

第1例会（2月4日）米山奨学生卓話

第2例会（2月14日）インターシティ・ミーティング。18日の振替例会です。

第3例会（2月25日）炉辺会議。クラブ細則に関して。

お知らせ

3月の五福RC訪問の件

辻 修 会員

3月の五福RC訪問の件ですが、現在のところ参加は21名です。出発1カ月前に確定いたしますので、確定後費用をご請求いたしますのでよろしくお願いいたします。

ガバナー卓話

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 得居 仁 様



松戸東ロータリー・クラブ得居仁でございます。
国際ロータリー第2790地区ガバナーとして、

千葉東ロータリー・クラブに公式訪問ができますことを大変光栄に存じております。

先刻行われました会長・幹事懇談会におきまして、千葉東ロータリー・クラブの現状とこれからの展望、課題などについて、率直な意見交換をいたしました。千葉東ロータリー・クラブの日頃の奉仕活動に深甚なる敬意を表する次第であります。どうぞ今後とも、クラブ発展のため、更に一層のご研鑽、ご尽力下さることを期待いたします。

30年ぶり、日本から3人目である、埼玉県八潮ロータリー・クラブ2012-13年度田中作次国際ロータリー会長の今年度のテーマは「奉仕を通じて平和を」であります。

田中会長は、ロータリーは、国や民族間の友情と寛容を推進することで、互いに理解し合う最も伝統的な意味での「平和」の後押しをすることが出来るとして、世界3都市での「ロータリー世界平和フォーラム」の開催を決定されました。2013年5月17、18日両日の「平和はあなたから始まる」をサブタイトルとする広島大会に、日本34地区それぞれから、最大20名のロータリアンと10名の新世代の参加が要請されております。

また田中会長は、ロータリアンは、自分よりも他のひとのニーズを重視する、「超私の奉仕」というロータリーの標語は、自分だけではなく、社会全体のためを考えよと教えてくれる言葉であり、「超私の奉仕」を実践することにより、私たちは、「平和」すなわち「心の平安や家族の幸せ、満足感」「人間の基本的なニーズが満たされた安全な状態」を実現することが出来る、とされておられます。

田中会長から地区ガバナーに対して、①「ロータリー世界平和フォーラム」推進、参加に加えて、②ロータリー戦略計画3つの優先項目である「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」に力を注ぐこと、及び③「奉仕を通じての平和」の精神をもつ

て、ロータリーの究極の目的である平和な世界に向けて邁進すること、の3点の要望がなされています。

さて、これより私の今年度ロータリーの取り組み方とロータリー観を申し述べたいと存じます。

RI定款と皆様のクラブ定款のそれぞれ第4条に規定されております「綱領」は、大綱で、つなぎ、まとめられた最も重要なものであることを意味する言葉であり、また同時に、国家に譬えれば憲法に匹敵する性格を有する基本的且つ重要なものがあります。私たちロータリアンがロータリーの目的、目標とするに留まらず、これを守り通し、守り続けて行かなければならないものなのであります。

「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し」と宣言しています。「ロータリーの目的は、奉仕という基本理念の上に立って事業が行われるようにすることにある」というのですから、ロータリーの目標は唯一つ、職業奉仕の推進以外にはなく、これに尽きるのであります。

ロータリーは、職業奉仕の推進を目的とする実践的倫理運動であり、職業奉仕を中心とし、そこから、新たに加わった新世代を含む4部門の奉仕の輪が広がり、それを結んだ輪の上に関連した諸活動が円形に広がって回転しているのが基本構造である、と私は考えています。

地区ガバナーは、地区内クラブに対する指導と監督を行うことで、ロータリーの綱領を推進する任務を課せられております。今年度私は、クラブ活動計画書掲載のご挨拶「利己と利他との調和」にもありますように、地区内のクラブに以下の9項目の要望をいたしております。

1. 職業奉仕の更なる推進を図ること。
2. 職業奉仕理念の理解を深め、職業奉仕の実践を極めていくことを目指して、クラブに

研修委員会を設け、或は研修を担当する委員会を定めて、クラブ会員の研修を重ねること。その効果により、高潔であり、品格・徳性を備え、地域社会で尊敬されるロータリアンを数多く生み出し、「クラブのサポートと強化」並びに「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を果たすこと。

3. 新世代奉仕活動をRIプログラムのみに限定せず、地域社会、国家、民族、ひいては地球の未来を担う新世代の若者の健全育成を図るための、社会奉仕委員会とのクロス・プロモーションによる奉仕活動を実施し、「人道的奉仕の重点化と増加」に資すること。
4. 異なるものが提携することにより、それぞれの活性化を生み出します。委員会の垣根を取り払って協同で活動する委員会クロス・プロモーション活動を実施することにより、「奉仕を通じての平和」の精神を以て平和な世界に向けて邁進すること。
5. これまでの奉仕活動が前年踏襲だけで行われていないかを検証し、新たな発想で奉仕活動の展開を図ること。
6. 例会の意味を改めて問い直しして、自己研鑽を重ねつつ、親睦の醸成を図り、その親睦の歯車の回転エネルギーをロータリーの奉仕に伝えることが出来るような例会とすること。
7. 各クラブ会員純増1名の実現に力を尽くすこと。
8. 「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」のテーマの下に開催されるロータリー情報研究会とこれに先立つクラブ職業奉仕委員長セミナーを効果あらしめるための全面的な協力を実施すること。
9. 広島で開催されるロータリー世界平和フォーラムの推進と参加への協力を図ること。

先般地区内各クラブに、クラブ会員研修の教材として頂きたく、冊子「忘筌」を3冊ずつお送りいたしました。

「ロータリーの基盤は職業奉仕であり」、「ロータリアンの責務は、事業と私生活において、高い道徳的水準を持ち続けること」、「ロータリーとは、異業種ながら志を同じくする職業人の集まりで、個々に清純で温かな心で地域社会に奉仕の手を差し伸べること」「ロータリーが職業奉仕を失えば、単なる社会奉仕団体に成り下がる」と述べられた2009-10年度ジョン・ケニー会長と同様に、田中会長も、「事業を成功させるには、顧客の満足を追求する以外にないという結論に達しました。顧客に喜んでもらえれば、事業も成長します。そうすれば私自身も幸せになれる。しかし、それは事業が成功しているからだけではなく、人を幸せにすることができたという認識があるからです。」として、折に触れて職業奉仕の大切さを説いておられます。

「Community Serviceの主体をクラブに置き、社会一般がロータリーに要望する社会福祉事業も実践すべし」とする行動派と、「ロータリーは会員個人の職業を通じて、事業上の啓蒙思想の活動に置くべき」とする理論派との間の議論の激突により、今にも分裂しかねない重大な危機を迎えたロータリーは、1923年セントルイス大会において決議23-34を成立させました。決議の時点において、4大奉仕（現5大奉仕）に分化する奉仕概念は未だ成立していませんでしたし、また決議前文において、「ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、及び社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することがCommunity Service（社会奉仕）である」としていることからしても、決議23-34は現在の「社会奉仕」だけに限定して適用されるべきものではなく、「（広く全ての）奉仕の実践に関する決議」であるとい

うべきであります。

決議23-34は、「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は、奉仕—『超我の奉仕』の哲学であり、これは『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』という実践的な倫理原則に基づくものである。」と宣言しています。

無限に増殖していく人間の本能である欲望に手綱をつけて、「欲望を自己制御」することが、「利己と利他との調和」を図るロータリーの「超我の奉仕」の「人生哲学」、即ち心構えであり、「利己と利他との調和」こそが、人と人との間柄、職業人・実業人とその相手方との関係を律する実践的倫理基準、即ち行動規範の偉大な原理であります。

私たちロータリアンは、例会において、親睦を通じて、心を磨き、自己研鑽に励みます。また道徳心を高揚させて、自らの徳性と品格を高め、更に自己研鑽のエネルギーを奉仕の心として、それぞれがそれぞれの職業の質、職業倫理の向上を踏めるのです。ロータリーの実践的倫理基準「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。He profits most who serves best.」に依拠して、「利己と利他との調和」という最高善を求め続けること、それがロータリーなのだ、私は考えています。

終りに当り、千葉東ロータリー・クラブのますますのご発展と、会員皆様のご健勝を祈念いたしまして公式訪問のご挨拶といたします。

例会に引き続き行われたクラブ協議会

各委員長発表

クラブ管理運営委員会 高山 正孝 委員長



広報・IT委員会 辻 修 委員長



ロータリー財団委員会 宍倉 壽夫 委員長



職業奉仕委員会 武田 康 委員長



社会奉仕・新世代委員会 加藤 隆 委員長



米山記念奨学会委員会 高柳 啓一 委員長



会員増強・退会防止委員会 池田 銀藏 委員長
奉仕プロジェクト委員会 神田 憲雄 委員長
両名欠席の為吉田幹事がメッセージを代読



欠席委員長からのメッセージ

会員増強・退会防止委員会 池田 銀藏 委員長

増強についての私成りに考えてみました。

1. 各会員が職業・趣味・セミナーなどを通じてお付き合いがある方々を卓話者があるときなどに一緒に例会に参加して頂く
2. ロータリーの楽しさを知って頂くチャンス
を根気よく続ける

3. 性急にクラブに入ってもらふことを求めない

活動の中に会員の皆様に協力を頂き会員になって頂きたい知人のリストを作成して頂く。

この趣旨は

1. このリストの中に会員の共通の知人が居られるかもしれません
2. 出来れば職業奉仕も一度みて参考にしてリストを是非作成したい

奉仕プロジェクト委員会 神田 憲雄 委員長

奉仕プロジェクト委員会は、CLP よりの新規委員会で主にクラブ外の奉仕プロジェクトを集約管理し、各委員会の活動が円滑にできるように務めたいと思います。

又、地域社会のニーズに応える教育的、人道的、及び職業関係の新規プロジェクトを立案すること。あわせて、不要、不活発な委員会の統合、廃止を会長エレクトに提唱させていただきます。

このようなことから、各委員会との連絡調整を密にはかり、各委員会の活動がより活発になるように務めたいと思います。



第2790地区 ガバナー

得居 仁 様
計 10,000円

累計 1,283,550円

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 小沼 和浩

■創立:1991年1月21日 ■認証:1991年3月6日 ■例会場:ホテルニューオータニ幕張 ■点鐘:毎月曜日 18:30

事務局:千葉市稲毛区穴川 3-5-27 上総ビル 303 TEL 043(251)2790 FAX 043(251)2726

HP <http://www.chiba-higashi.jp/>

Email chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp